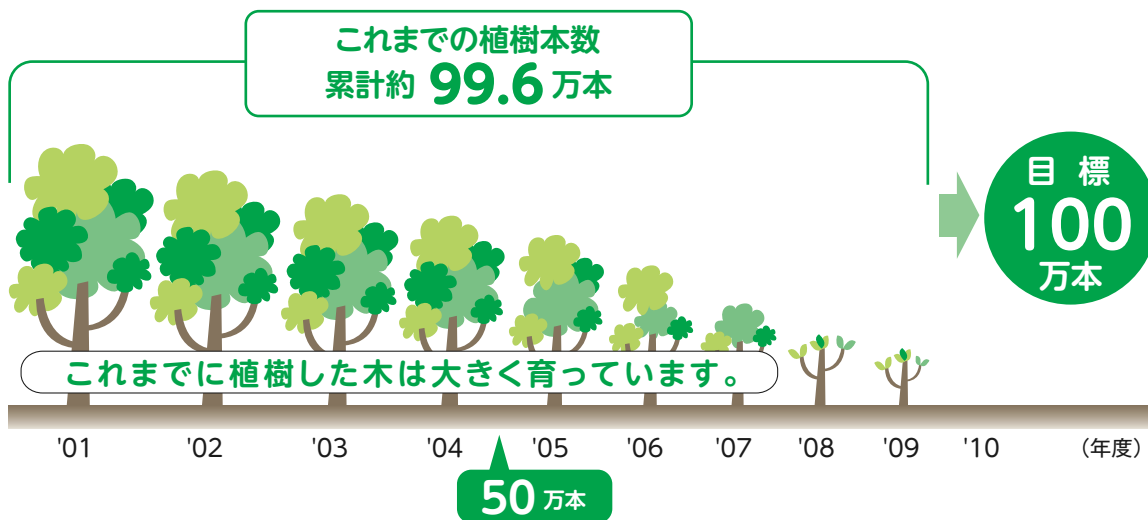


地域の皆さまと一緒に、環境を考える。

九州ふるさとの森づくり



当社創立50周年を記念して、2001年度から10年間で100万本(1年間で10万本)の植樹を地域の皆さまと一緒に行う「九州ふるさとの森づくり」を展開しています。これまでの9年間で99.6万本を植樹しており、2010年度には目標である100万本を達成できる見込みです。



九州ふるさとの森づくりin干潟よか公園(佐賀県佐賀市)

九州ふるさとの森づくりの実績・今後の予定などをホームページに掲載しています。

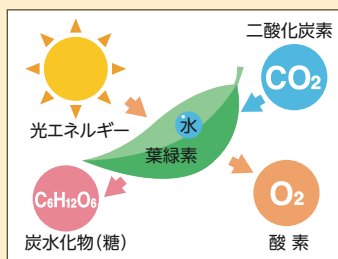
九州電力ホームページ <http://www.kyuden.co.jp/> ▶ 原子力・環境・エネルギー ▶ 環境への取組み ▶ 具体的な取組み ▶ 九州ふるさとの森づくり

ご存知ですか?

森にはさまざまな機能があります。

CO₂を吸収し、地球を暖めすぎない

木は、光合成をしています。太陽のエネルギーを使って、水とCO₂から、木を成長させる栄養となる糖と、酸素を作っています。つまり、木は光合成を行う時、人間とは反対に、CO₂を吸って酸素を吐き出しているのです。森は、地球にきれいな空気をもたらすのと同時に、地球が暖まり過ぎるのを防いでいます。



動物・植物・昆虫など生き物を育てる

地面に落ちた木の葉は栄養となり、他の植物やミミズ、微生物などはその栄養で生きています。さらに森には小さな虫たちや草花の種、木の実などを食べる鳥たちもいます。そしてその鳥の糞に入っていた種から樹木の芽が育っていきます。こうやって森の生き物たちはお互いを支えあい、大きな輪となって、命をつなげています。

水をためる(災害を防ぐ)

森の土は落ち葉が分解してでき、ふかふかで栄養たっぷり。おまけに木の根が縦横無尽に走っていて、隙間だらけなので、スポンジのような状態です。そのため森の土は、木のない土よりもたくさんの水を吸い込むことができ、森は「緑のダム」といわれています。森がなくなると、水が吸われないので、雨が降るとすぐに水が流れて川が氾濫してしまったり、場合によっては洪水を起こします。水をためておく森は、水害から私たちの暮らしを守っているのです。



九州ふるさとの森づくりや、エコ・マザー活動など、地域の皆さまと一緒に環境活動を九州の各地で展開しています。

エコ・マザー活動

九州各地の保育園などで、環境問題への気づきとなる環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、環境に配慮することの大切さを、小さなお子さまにも分かりやすくお話しする「エコ・マザー活動」を2003年度から展開しています。


環境紙芝居の鑑賞など、エコ・マザー活動の詳しい情報をホームページに掲載しています。



エンゼル保育園（熊本県熊本市）



環境紙芝居「もりじいとなかまたち」

九州電力ホームページ <http://www.kyuden.co.jp/> ▶ 原子力・環境・エネルギー ▶ 環境への取組み ▶ 具体的な取組み ▶ エコ・マザー活動


環境教育支援活動

おなごはた
女子畑発電所ダム周辺にある「女子畑いこいの森」などで、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を展開しており、自然観察会や森林教室などを市民団体の皆さまと協力しながら実施しています。

森のご案内など、女子畑いこいの森の詳しい情報をホームページに掲載しています。



「女子畑いこいの森」での自然観察会

九州電力ホームページ <http://www.kyuden.co.jp/> ▶ 原子力・環境・エネルギー ▶ 環境への取組み ▶ 具体的な取組み ▶ 女子畑いこいの森

ご存知ですか？

森の荒廃が問題になっています。

利水(川・ダム)

雨が降り、森の下から湧き出た水はやがて川に注ぎます。その川の水を利用して、発電用や、農業用、飲用、工業用に使っています。

人に心地よさを与える

森の中を歩くと、木が発すると言われているマイナスイオンのシャワーを浴びることができ、リラックスしたり、清々しい気分になります。



近年、大規模な土砂災害が多発しています。この原因の1つとしてクローズアップされているのが、森の荒廃です。人の手によって植えられた木が、その後間伐などの手入れをされなかったために、細く、根も浅い木となり、その土壌も崩れやすくなっているのです。

九州電力では、将来的に人の手があまりかからない、九州の自然植生であるシイ・タブ・カシを中心としたその土地本来の樹種を植樹したり、植樹後に下草刈りを行う育林活動を行っています。



土砂災害の様子